

目次

〔座談会〕 脳とこころ—神経心理学的視点から—

神経心理学会の誕生	2	懇話会から学会へ	5	シンポジウムのテーマ	7
左右脳と分裂病	9	意識上、意識下の問題	10	デイスコネクションとコネクションニズム	12
認知心理学と神経心理学の問題	14	「こころ」とは	17	「個」の問題	18
脳を意識して患者を診るか	20	「こころ」は「こころ」だけで完結するか	22	物とコト	24
個と神経心理学	27	記述の重要性	30	実験イコール科学か	32
脳はコンピュータか	34	ケーススタディの重要性	35	異質なシンボル操作	36
感情の問題	38	血管性うつ病	41	セロトニンと強迫	43
最近の論文	44	認知神経心理学	46	神経心理とテスト	49
論文の作成	50	発達の問題	52	発達とカテゴリゼーション	54
発達とカテゴリゼーションと教育	55	進化の問題	56	進化と変質論	57
遺伝子の問題	59	老化の問題	60	世代による世界認識の違い	61
神経心理学的にみた世代間の問題	62	機能画像研究で自己に接近できるか	64	主体は局在するか	66
主体は実体として存在するか	69	主体とは	70	ことばとビヘイビア	73

第一章 日本神経心理学会の現況——沿革と展望——

- 一 沿革.....76
- 二 会員構成.....79
- 三 活動内容.....80
- 四 将来への展望.....82

第二章 精神医学と神経心理学

- はじめに.....86
- 一 精神分裂病と神経心理学.....86
 - A 分裂病と分離脳.....86
 - B 分裂病と前頭葉.....91
 - C 私見.....92
- 二 現場の精神神経科医に求められるもの.....92
- おわりに.....93

第三章 精神・脳・神経心理——「知る」とはどういうことか

- 一 「神経心理」の基本問題.....96
- 二 神経心理と局在論.....98
- 三 ホムンクルスのパラドックス.....103

- 四 パラドックス解消の試み（その1）.....106
- 五 パラドックス解消の試み（その2）.....110
- 六 まとめにかえて.....117

第四章 神経心理学の展開

- はじめに.....122
- 一 「マゴロ」の研究.....122
- 二 Ceteris Paribus どうぶつ.....124
- 三 シェバリーン (Shebalim) の場合.....125
- 四 証明と説明.....129

第五章 精神医学からみた脳と心ころ——特に幻覚と心因健忘について

- 要約.....134
- はじめに.....134
- 一 幻覚について.....135
- 二 自己（セルフ）の異常について.....140
- おわりに.....146